

~天気便~

まいだより

第8号 2011年9月発行

INDEX

- P1 オーガニック・ランチ・レポート
- P2 玉崎家のようち作り
- P3 ワークショップレポート
子育て日記
- P4 新理事入りい自び介

オーガニック・ランチ・レポート

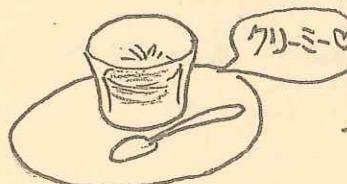
7月25日 『ヴィオレット・ステラ』さん

JR草津駅からほど近い田園地帯のまん中
自家菜園と庭に囲まれたフレンチ・レストランです。

平日のお食事には満席！予約がおすすめです
この日のお食事のコースは…

①アミューズ《福澤さんのホワイトマッシュルームの

ブランシェ》



②前菜《帆立貝のバジルグリエヒ
旬野菜のサラダ仕立て》



滋賀県 栗東市

中沢3-5-11

TEL: 077-552-7136

(野菜にはついた人の名前入り。もちろん

レストラン自家菜園の野菜やハーブ…)

⑤デザート盛りあわせ

ブランシェとXOのソース

アモローバーのベリーのタルト

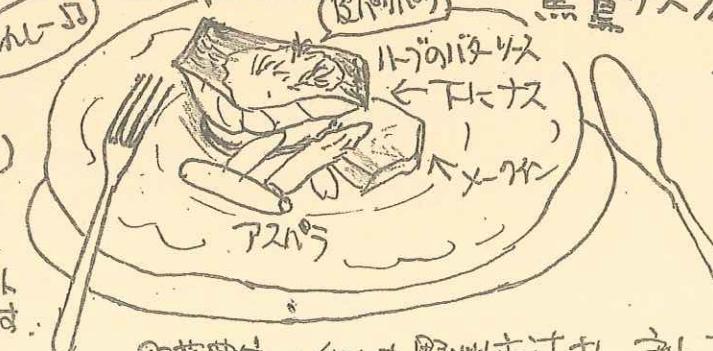


野菜の数が多い♪

火を通したものばかり

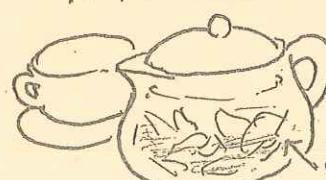
④主菜(魚と肉と
野菜の組合せ)

「イシモチのパウレ
植木さんのメークインと
黒豆ナス」



⑥飲み物(季節から違います)

ハーブティーが絶品です! つめたり
フレッシュ
ガラボット
で出ます。



野菜農家は他にも野洲市ほか、宇治 大井農園さんなど…

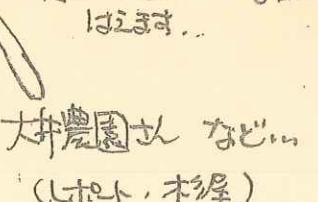
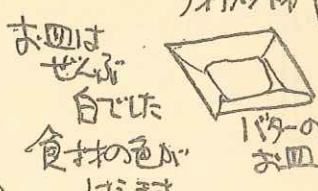
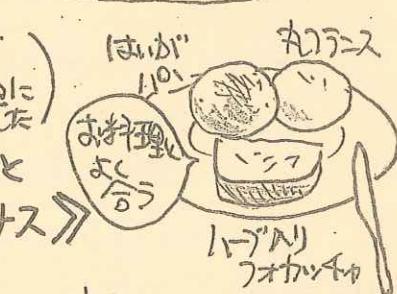
(ヒート、木屋)

*次回、10月のオーガニック・ランチ会は、同じく栗東市の『Prego』(イタリアン)さんの予定!
参 加してみたい方、碧ひふ湖までご連絡を!

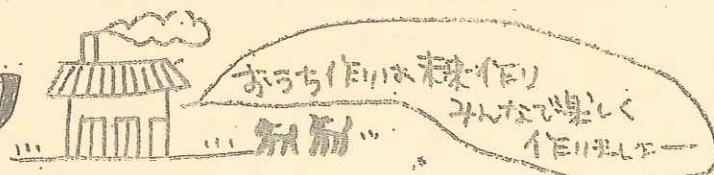


violette  stella

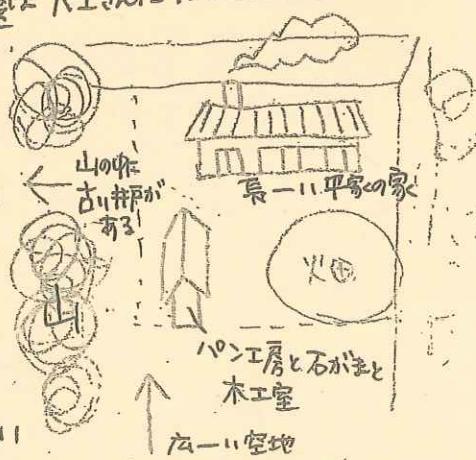
Cuisine française



玉崎家のうち作り



こんなには。(はじめまして) 一さんこそ 玉崎洋子です。40才4児の母 4月生まれ、と。
「4」がそろったところで 今年はめでたし家作りです。今は小さな古民家に暮らしていながら
子供も大きくなってきて(小6・小3・5才・3才) **夢の** 物が増えてきて、パン屋もやりたくて、空家をずっと
さがしてたんやけど"理想の空家は見つからず"…まあ それもそのはず。畠と山があつて日当り
が良く、まわりに家がないで 広いところに木の家と建てる 小屋もつくりて 今より広い家なんて
そんなところにはないわよ。でも あきらめず 紙に書いて 新月の日にお願ひしてたら なんと!
ある日 近所に住んでる仲良いのあじさんが、「ここが"あきらか" 土地を売つてもらえるか聞い
てあげようか」と、言ってくれたのです。その場所には 近くなんやけど"奥まで"今まで行つたこと
がなかつたので 行つてみると 「よしよしよし——!! 理想にぴつたしの場所(やないですかー!!)
こんな近くにこんなところが あつたなんて… 夢が現実に… もうここに家を建てて住みたい
と、ますます夢はふくらんだのです。(しかし、家を建てようなんて思つてなかつたので お金はすたくな
く自分たちで建てるしかないなーでも 全部はくりこやし 骨組と基礎は 大工さんに手のみだいなー
でも 大工さんの矢印合川はいいなし。セミセルフビルト"なんでも、くれる
人いるかなぁーと、思つたときに 碧いびわこの村上さんにちよと
きつめてみたら 「いますよー! きっと玉崎さんにピッタリの人!!」(わがい
(まじょうかー)と言つてくれは、たのです! すすごい! こんなすぐに
見つかるなんて! とにかく会つみたい!! びわぼく? 名前も
ステキ!! それからまもなく 村上さんが「びわぼく見学ツアーと、

清水さん(大工)松木さん(農家)の「ありはない会」というすばらしい企画を組んでくれたのでした。ありがとうございます! その日の清水さんの「ありはない」はアメリカで見ていたエネルギー「自給の家のこと、自分はどんな家を建てたいか」がてこと、すばらしい!! まさにひときわおおきな夫婦です。清水さんに「あらがい」と意見が合ったのでした。(こんなことはめずらしい)

こんな大工さんがこんな近く、滋賀県にいたんやー すごいタイミングでたどりついた。神様、村上さんありがとうございます! と、キセキは続き、まだまだつづくのです。清水さんはじょくひきうけてくれました。

そしてちょうど清水さんはアメリカで見ていた「エネルギー」をあまり知らないで暮らせる家を建てようと、清水さんがやりたることを「まほ」と入れて建てるといつていきました。で、その小林さんの家には清水さんがやりたることを「まほ」と入れて建てるといつていきました。

私たちもまさにそんな家が建てたくてあまりにタイムリーなのでまたまたびっくり! それに当初私たちもまさにそんな家が建てたくてあまりにタイムリーなのでまたまたびっくり! それから、木製サッシにあこがれて(かも信楽は寒からペアガラスの窓がいいなーと思ってたけど)から、木製サッシにあこがれて(かも信楽は寒からペアガラスの窓がいいなーと思ってたけど)お金がな川のでせいたくがなと、半分夢くらいにしか思ってなかたけれどなんとどうぞ自分で作ってみようか! しかも商品として完成してまだ未だなーとのこと、価格はアルミサッシとあまりかからなーとすること!! すごー!! またキセキが… 章がまたひとつかな? でもまだまだありますよー フラッキーナン次号で! キセキは

アースデイしが'903(稲東さち、7月3日 10:00~20:00)レポート

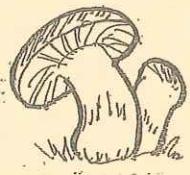
10年以上前の「アースデイしが」で、環境生協は廃食油の石けん作りやブラックルーム、石けん歯磨きのミミズの実験、牛乳パックの紙漉きなどを担当していました。月日は移り変わり、今回は碧いびわ湖としての参加となり、仲間の若い力の結集を見て、いよいよ世代交代を強く感じました。



NPO設立当初から「暮らしを考える会」さんと一緒に、私たちが今できる何かを世間に向かって発信しようと、動きかけていたのですが、丁度そのとき、原発事故という火種が投げ込まれたのです。今回は両者以外にも様々な人達で構成された「あすのわ」主催となり、大きな推進力を得ました。

思えば、環境運動に対する世間の鈍い反応に、幾度も落胆していた私でしたが、この日、主催者と参加者の想いが一体化して、本当のアースデイになったと思いました。それは当日の来場者数が、大ホール述べ1500人、野外イベント約5000人ということでも分かると思います。映画上映、監督講演、田中優さん講演、NOゲンバツ展、こだわりマーケットなど、どれをとっても大上段に構えず、仲間と手を取り合い、助け合おうよという姿勢そのものです。実に素晴らしいと思いました。この精神で、これからも活動してゆきたいものです。

浅野博子



田中優さん講演会ワークショップ報告「身近なエネルギーを生かす暮らし」

7月31日、滋賀県立大学で開催された田中優さんの講演会にあわせて、ワークショップ「身近なエネルギーを生かす住まい」を、マックスウッドの回渕享治さんと一緒に担当させていただきました。

朝10時からのスタートだったのでお客様の入りを心配していましたが、ありがたいことに、約10の方にご参加いただきました。

ワークショップではまず、私たちが毎日の暮らしや仕事の中でどんなエネルギーをどれだけ使っているかを見つめ直し、エネルギーの消費量を減らすことと、身近なエネルギーを生かすことの必要性を確かめました。その上で、薪ストーブについて回渕さんから、太陽熱温水器と雨水活用について私から詳しく紹介させていただきました。

回渕さんと一緒に話をさせていただいて改めて実感したことは、エネルギーを自給する暮らしは、面白く、災害に強く、地域の自然と経済の再生につながる、ということです。

この秋からは、実際に薪ストーブを使われているお宅を訪ね、薪ストーブのある暮らしを体験させていただく「おうちカフェ」を開いていこうと思います。アタマで知ったことは、カラダで識ってこそその知識です。薪の炎の温もりに包まれて、ほっこりゆったり、語り合いましょう。

村上 悟

まつのい連載 ぬぎさんの子育て日記

私の髪は、いつも自分で刈る。一方、1歳9ヶ月になる息子の髪は、耳にかかるところを少しカットしただけで、大部分は産毛のまま。妻には、その産毛の感じがすて難いらしい。ただ、うしろ髪が首にかかるようになり、暑い季節で汗もできるので「そろそろ切らな」と話しつつ、丸刈りにするか、前髪（産毛）を残すなど、なかなかかみ合わない。そんな夏の中、私の髪を先に刈る。が、息子のほうはまだ煮え切らない（親がね・笑）。ところが、夕方、散歩にでた先で見かけた近所の子どもの髪型に目がとまる。後頭部と耳周りはすっきり刈り上げ、前髪と頭頂部は長さのある、いわゆるソフトモヒカン（？）。「あれならいいね」とイメージが重なる。夜、風呂に入るタイミングで、「いまやっちゃんおうか」と半ばノリで散髪スタート。絵本を読んだり、抱っこして乳やったりしながら、はじめての散髪は珍作業。気がつけば息子の目は閉じ、そのまま散った髪を洗い流し終了。出来栄えは？（まあご愛嬌）

根木山恒平



新理事さんリレー自己紹介

第2回 瀧健太郎さん
上田洋平さん

はじめまして。この4月から新理事を拝命いたしました瀧健太郎と申します。大津市在住の39歳で、妻、小学4年生の娘、小学2年生の息子の4人で暮らしています。

わたしは、大阪で生まれ育ち、学生時代を京都で過ごし、東京の民間企業で少し働いたのちに、平成11年より滋賀県庁に勤務しています。この間、主に、河川に関わる業務に携わっています。現在は、関西広域連合に出向し、“関西”の未来を考える仕事に従事しています。構成する府県や国が関西広域連合という舞台で、互いに助け合える仕組みを考えています。

行政の仕事は「枠組み」を作ることがほとんどで、ともすれば、ココロの部分を忘れてしまうことがあります。日々の仕事の中で、いつまでもココロの部分を忘れずに大切にしていくことが日々の目標です。滋賀県に集う人たち、ひとりひとりが生き生きと暮らしていくける未来を信じて、やれる限りのことをやりたいと思っています。

その中で、碧いびわ湖の理事として、行政職員としての知識や、河川工学の専門家としての知識、多様な人たちとのネットワークなども使いながら、暮らしに根差したさまざまな活動に貢献していきたいと考えています。これまで、何度か理事会を経験させていただいたり、議論に参加させていただいたりする中で、具体的にどのような貢献ができるのか日々模索しています。

まだまだ若輩で経験も不十分ですが、みなさんのお役に立てるよう精一杯努めますので、ご指導の程よろしくおねがいいたします。

瀧健太郎

このたび理事を拝命いたしました上田洋平です。大学の研究員をしています。目下の関心は「新しい時代の“在所”をいかにつくるか」です。それは大体こういう話です。

人間を「からだ（物質性・自然とのつながり）」と「こころ（関係／社会性・人と人とのつながり）」と「たましい（時間／歴史性・自分自身とのつながり）」の三枚おろしにして、現代の日本人についてそのそれぞれの有りようを見てみると「からだ」はグローバル化しています。「こころ」は、のっぺらぼう（外面）で百面相（内面）な者同士が“無縁社会”をつくっているらしい。そして「たましい」は“千の風になって”吹きさらつている。というように、いずれもなんだかフワフワと宙に浮いたようで所在ない。もちろん、これは私自身の姿もあります。

「わたくしのからだはいかなる大地に根差し、わたくしはどんな社会で誰のために（どんなふうに皆に助けられるながら）どんな役割を担い、わたくしがいま預かっているこの命はどこからきてどのように引き継がれていくのか…」。いつのまにか、それが見えにくい社会になってしまった。そんなシステムをつくってきた。

時代が大きく変わりつつあるこの時に、ひとりひとりの人間の「からだ」「こころ」「たましい」の根拠のありかがあらためて問われています。

「からだ」「こころ」「たましい」の根拠のありか。それをはっきり確かめられる場所があつて、人々は心をこめてそれを「在所」と名付けたのだと思います。

ところが自分は“所在”ない。

皆はどうなんだろう。皆はそれぞれ、どんな在所に生きているのだろう。

「自然のめぐみ」「歴史のめぐみ」、そして「人のめぐみ」、それぞれのめぐみに根差し、それらめぐみがめぐりあう結び目に、わたくしはこんなに確かに生きている。それをどこかで感じ、確かめながら生きられる、そんな「在所」を見つけたい。この滋賀が皆にとって、そんな「在所」になるように。私は、碧いびわ湖理事としての仕事を通じて、そのヒントを見つけたい。そして皆さんと共有したいと思います。よろしくお願ひします。

上田洋平

「碧いびわ湖」情報紙 「あまいろだより～天色便り～」 第8号

発行日 2011年9月10日

編集 びわこ未来プロジェクト

発行

特定非営利活動法人

碧いびわ湖（旧滋賀県環境生活協同組合）

521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦3番地

TEL0748-46-4551/FAX0748-46-4550

Eメール info@aoibiwako.org

びわこ未来blog更新中～♪

<http://aoibiwako.shiga-saku.net/> (滋賀咲くブログ)

<秋の催し>

09/24 (土) パスカルズコンサート in 信楽

10/09 (日) 小出裕章さん講演会 in 大津

10/10 (月) 広瀬隆さん講演会 in 大津

10/10 (月) 渡辺美紀子さん講演会 in 京都

10/12 (水) 池田香代子さん公開琵琶湖塾 in 彦根

10/31 (月) 野呂美加さん講演会 in 大津